



超大型望遠鏡TMT計画

口径 **30メートル** の地上光学赤外線望遠鏡

従来の大望遠鏡を **約 10倍** 上回る集光力
ハッブル望遠鏡を **10倍以上** 上回る解像度

宇宙で **最初** の星・銀河の正体を探る
太陽系外惑星に **生命** の兆候を探る
ダークエネルギー の性質を解明する

国際協力 **492枚** の分割鏡により、口径30メートルの主鏡を構成
でハワイ・マウナケアに建設
すばる望遠鏡との連携で世界の天文学をリードする

TMTにより、2030年代の天文学は飛躍する



TMT完成予想図



臼田 知史 USUDA, Tomonori 国立天文台 TMTプロジェクト長

すばる望遠鏡により、最遠方銀河の発見をはじめ、世界の第一線の観測研究が進められてきました。これをさらに推し進めるため、口径30メートルという、かつてない大望遠鏡を国際協力で建設する計画を進めています。